

美観地区における ユニバーサルツーリズムの実現

清心女子高等学校
清心女子高等学校

美観地区における ユニバーサルツーリズムの実現

清心女子高等学校

11 住み続けられる
まちづくりを



美観地区の現状と課題

- ・ 歴史的景観が残る観光地
- ・ 石畳の道が多い
- ・ 段差・坂が多く、道幅が狭い
- ・ 近くに駐車場がない
- ・ スロープがない場所がある



目的・きっかけ

目的

移動の不便さを理由に、観光を諦めてしまう人をなくす

きっかけ

私たちは地元的美観地区が大好き！！



色んな人に知ってほしい



問題は移動かも？！

「おもてなし処」

観光客が安心して立ち寄れる倉敷市認定のサポート拠点



課題の整理

バリアフリー化は重要！！！！

- ・ しかし、スロープ設置などには限界がある
 - ・ 景観保護の問題
 - ・ 道幅が狭い
 - ・ 大規模工事が難しい



提案

スロープだけでは解決しない...そこで！！

WHILLを導入しては？！

WHILLの活用

- ・ 近距離移動を支援する電動モビリティ
（歩行者認定）
- ・ 操作が簡単で安定性が高い
- ・ 石畳や坂道でも走行可能
- ・ 観光地での利用を想定したデザイン



フィールドワークの実施

WHILLを使用し、車椅子利用者の目線で美観地区を移動した。





美観地区にある施設へのインタビュー

大原美術館

現状：館内で車椅子、ベビーカーの貸出

課題：蔵の建物内が階段しかない
近くに駐車場がないことで来れる
人が限られる

希望：一人のお客様につけない美術館の
ような建物にWHILLは最適



美観地区にある施設へのインタビュー

旅館くらしき

現状：7月から”岡山発”WHILLを初導入

課題：日本人は使うのが恥ずかしいという気持ちで使ってくれない
まだあまり知られていない

希望：1つの移動手段という形で
WHILLが広がってほしい



WHILL導入によるユニバーサルツーリズムの実現

スロープなどの環境整備を前提とし、WHILLを導入することで
誰もが観光しやすい美観地区の実現を目指す

まとめ

Before

移動の不便さにより、観光を諦めてしまう人がいる

After

WHILLの導入により、移動の選択肢が増え、
誰もが観光しやすい美観地区へ！

謝辞

本探究を進めるにあたり、ご指導・ご助言をいただいた松本浩和先生、福武大輝先生
に心より感謝申し上げます。

また、WHILLのご提供を賜りましたダイハツ様、取材にご協力くださった大原美術館様
および旅館くらしき様に厚く御礼申し上げます。

ご清聴ありがとうございました

